



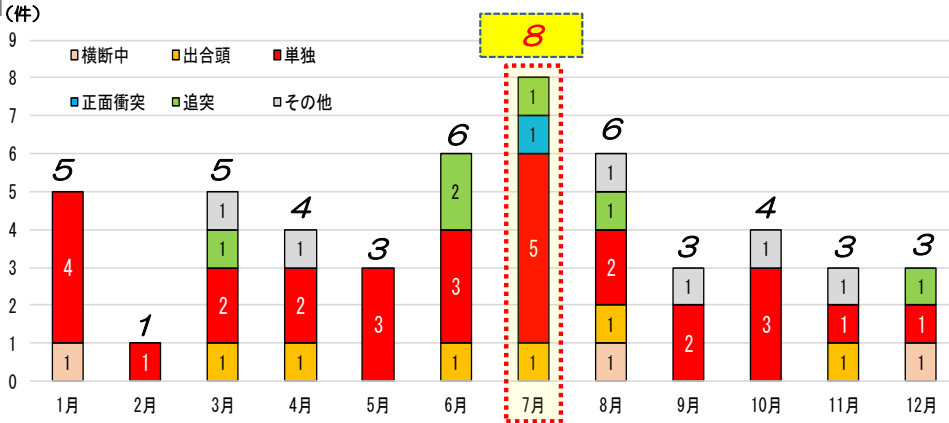
このマークの先には、必ず横断歩道がある

交通事故防止の POINT

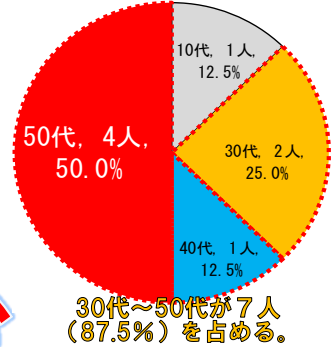
7月は、飲酒運転による死亡事故が年間最多月！



《過去5年 飲酒運転（※原付以上第1当事者）による月別の死亡事故発生状況》



《過去5年7月 飲酒運転（※）の年代別》



飲酒運転の罰則・行政処分

酒酔い運転	罰則	5年以下の懲役又は100万円以下の罰金	
	行政処分	免許取消し（35点）	
酒気帯び運転	罰則	3年以下の懲役又は50万円以下の罰金	
	行政処分	0.15mg/1以上0.25mg/1未満	免許停止（13点）
		0.25mg/1以上	免許取消し（25点）
飲酒検知拒否	罰則	3か月以下の懲役又は50万円以下の罰金	

注意!!

- 酒気を帯びている者の車両に同乗する。
- 酒気を帯びている者に車両を提供する。
- 車両を運転するおそれのある者に酒類を提供する。



についても重たい罰則・行政処分が科せられます。

- アルコールは、中枢神経系に作用して脳の神経活動を抑制する物質で運動機能、自制心、動体視力、集中力、認知能力、状況判断力の低下等を生じさせます。
- 飲酒運転は、故意による悪質・危険な犯罪です。アルコールによる身体機能に与える影響からも、交通事故を起こす危険が極めて高くなりますので、絶対に飲酒運転はやめましょう！

※ 各表は、過去5年間（H28～R2年）に愛知県内で発生した交通死亡事故等を分析した結果です。

